

チェンジメーカー教育

持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)教育

一般社団法人 地域連携プラットフォーム
認定NPO法人ESD-J 理事

共同代表理事
長岡素彦



チェンジメーカー教育・持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)教育

チェンジメーカー教育・持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)教育とは、ESDであり、持続可能な仕事を生み出し(起業・教育)、持続可能な生産と消費を行い(経営・教育)、持続可能で適正な職業への参画のための価値観、能力を育成(職業キャリア教育・職場教育)するもの。

持続可能な仕事を生み出し(起業・教育) 起業ソーシャルアントンプレナー教育
持続可能な生産と消費を行い(経営・教育) 経営 サステナブルマネジメント教育
ディーセント・ワーク教育

持続可能で適正な職業への参画のための価値観、能力を育成(職業キャリア教育・職場教育)
職業 持続可能なキャリア教育

1.持続可能な開発(SD)と教育・ESD

持続可能な開発(SD)は、社会・環境・経済の調和のとれた発展を目指している。

持続可能な開発(SD)を基本にしたSDGsではMDGsの反省も含めて、「教育」としてすべての機会に公平かつ包括的な質の高い教育と生涯学習を提供と「経済」として持続可能な産業化と持続可能な消費と生産のパターンを促進し、持続可能で信頼性の高いエネルギー

ギーと包括的かつ持続可能な経済成長とディーセント・ワーク（Decent work:働きがいのある人間らしい仕事）を生み出すことを目標とすることを検討している。

また、持続可能な開発(SD)を教育によって進める持続可能な開発のための教育(ESD)では中間年の「ユネスコ ESD 世界会合」の「ボン宣言」で現在の経済的思考を変え、持続不可能な生産や消費を回避し、「持続可能に開発された」社会・国にする(ボン宣言)ための教育を掲げた。それは、地域と世界で生態や人権に配慮した持続可能な仕事を生み出し、持続可能な経済(持続可能な生産と消費)を運営し、持続可能な生活と社会、持続可能で適正な職業への参画のための価値観、知見、技能、および能力を育む「質ある教育」である。

そのために、最終年の「ユネスコ ESD 世界会合」ではESDのグローバルアクションプログラムとして政策的支援（ESDに対する政策的支援）、機関包括型アプローチ（ESDへの包括的取組）、教育者（ESDを実践する教育者の育成）、ユース（ESDへの若者の参加の支援）、地域コミュニティ（ESDへの地域コミュニティの参加の促進）が定められる予定である。

持続可能な開発(SD)のためには、経済分野では持続可能な経済イノベーションによる包括的な持続可能な経済成長とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）への参画のための価値観、知見、技能、および能力を育む公平かつ包括的な「質ある教育」(ESD)が必要とされている。

ここでは、この「質のある教育」を持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)のための教育、チェンジメーカー教育(changemaker-education)とする。

2.持続不可能な経済のための適応教育と持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)のための教育・チェンジメーカー教育

持続不可能な経済のための適応教育とは、現在の一部の経済的思考を教え、持続不可能な生産や消費を助長する教育であり、地域と世界で生態や人権に配慮しない持続可能な仕事を生み出している。

それは現在の持続不可能な生産と消費によって成り立つ持続不可能な生活と社会及び持続不可能な職業へ適応のための技能、能力を育む「量の教育」である。

経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)のための教育・チェンジメーカー教育とは現在の経済的思考を変え、地域と世界で生態や人権に配慮した持続可能な仕事を生み出し、持続可能な経済(持続可能な生産と消費)を運営し、持続可能な生活と社会、持続可能で適正な職業への参画のための価値観、知見、技能、および能力を育む「質ある教育」である。

持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)のための教育・チェンジメーカー教育は、持続可能な経済(持続可能な生産と消費)を生み出して運営し、その担い手を育てるものである。

つまり、持続不可能な経済のための適応教育となっている現在の一部の経済・経営教育や職業職場教育・キャリア教育を持続可能にするものであり、「質のある教育」とするものである。

持続可能な経済イノベーションのための教育・チェンジメーカー教育は、すべての機会での公平かつ包括的な質の高い教育であるが、起業・経営・職業・職場のフェーズでの教育を行う。

起業 ソーシャルアントンプレナー教育

経営 サステナブルマネジメント教育

職業 持続可能なキャリア教育

職場 ディーセント・ワーク教育 (Decent work:働きがいのある人間らしい仕事)

3.仕事づくりGの提言とESDのGAP

・政策的支援 (ESDに対する政策的支援)

→提言案1 学校で学習指導要領に持続可能な経済イノベーション教育

・教育者 (ESDを実践する教育者の育成)

a) ノンフォーマル及びインフォーマルな教育の教員及びファシリテーターと同様、就学前教育・初等中等教育の教員養成及び現職教員研修にESDを取り入れること。ESDを特定の教科分野に盛り込むことから始めたとしても、最終的にはESDが分野横断的な項目として統合されることにつながる。学校長に対するESDの研修も含まれる。

→提言案4 キャリア教育・学校で持続可能な経済イノベーション教育

d) 例えば資源の効率化及び社会的責任や企業責任等の持続可能な開発の観点から、大学院教育及び政策決定者、公共セクターの職員、ビジネスセクターの社員、メディアと開発の専門家、その他の持続可能な開発に関する分野別及びテーマ別専門家の能力の構築・研修の強化された方法に取り入れられること。これは、民間企業の社員にESDの社内教育プログラムを実施するのと同様、ESDプログラムのトレーナー研修や管理職教育にESDを導入すること等を含む。

→提言案2 企業での起業家教育(持続可能な経済イノベーション教育)

・ユース (ESDへの若者の参加の支援)

→提言案3 ユース若者とこの持続可能な経済イノベーション教育

→提言案4 キャリア教育・学校で持続可能な経済イノベーション教育

・地域コミュニティ (ESDへの地域コミュニティの参加の促進)

→提言案1-4

4.持続可能な経済イノベーション(起業・経営・職業・職場)のための教育・チェンジメーカー教育 学校 地域

この教育は、現在実施されている教育プログラムを活用し、起業ソーシャルアントンプレナー教育、経営サステナブルマネジメント教育、職業持続可能なキャリア教育、職場ディーセント・ワーク教育を自分のためのライフデザインとサステナブルな社会デザインとして行うものである。

起業 ソーシャルアントンプレナー教育

経営 サステナブルマネジメント教育

職業 持続可能なキャリア教育

職場 ディーセント・ワーク教育 (Decent work:働きがいのある人間らしい仕事)

起業についてはソーシャルアントンプレナー教育として行われているが、学校や地域、企業でも行う。

そして、多くのコワーキングスペースやファブラボで実証実験を行いながら、実際の持続可能な経済を生み出していく。

経営についてはサステナブルマネジメント教育が行われているが、企業や学校、地域でも行う。

企業が社会的責任CSRをはたして行くことで、企業が社会的企業化していくことで、実際の持続可能な経済を生み出していく。

職業については持続可能なキャリア教育が行われているが、学校や地域、企業でも行う。

キャリア教育が持続可能なキャリア教育に転換することで、キャリア教育を受けた担い手が企業を社会的企業化し、実際の持続可能な経済を生み出していく。

職場については、ディーセント・ワーク教育 (Decent work:働きがいのある人間らしい仕事) を企業が社会的責任CSR・コンプライアンス教育を行っているが、学校や地域でも行う。

企業が企業が社会的責任CSR・コンプライアンス教育をして行くことで、企業が社会的企業化していくことで、実際の持続可能な経済を生み出していく。

これらの教育と学び合いと行動を学校と社会で行う。

2014.7.10 2稿

2014.6.23 初稿